

第1章 理念・目的

1. 現状の説明

(1) 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。

【評価の視点】

- ・理念・目的の明確化
- ・実績や資源からみた理念・目的の適切性
- ・個性化への対応

＜1＞ 大学全体

- 1) 本学の学是は「仁」、人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心である。理念は、「不断前進」の精神であり、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける姿勢のことである。
(資料1-1 順天堂ホームページ 「本学の学是と理念」)
- 2) 学部においては、教育基本法及び学校教育法に基づき、医学、スポーツ健康科学並びに看護学の理論と実際を教授・研究するとともに、全人教育をもって心身共に健全な公民を育成することを目的としており、科学及び技術の水準を高め文化の進展に寄与し、人類の福祉に貢献することをその使命としている。(資料1-2 順天堂大学学則 第1条)
- 3) 大学院においては、教育基本法及び学校教育法に基づき、医学、スポーツ健康科学及び医療看護学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的及び使命としている。(資料1-3 順天堂大学大学院学則 第1条)
- 4) 学部・学科、大学院研究科ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的及び教育目標を以下のとおり定めている。

＜2＞ 医学部

- 1) 本学部では、人類の健康・福祉に寄与できる専門的な知識、技術を身につけ、「科学者」の視点を持ちつつ、感性豊かな教養人としての医師・医学者を養成することを目的としている。そのために、以下の目標を定めている。
(資料1-4 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

- (1) 科学的根拠に基づいた医学・医療を行うための体系的な知識と確実な技術を身につける。
- (2) 不断前進する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する態度・習慣を身につける。
- (3) 常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を慮り、慈しむ心、即ち学是「仁」の心を涵養する。
- (4) チーム医療・研究を円滑に遂行できる能力と習慣を身につける。
- (5) 国際社会に役立ち、未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養を培う。

＜3＞ スポーツ健康科学部

- 1) 本学部では、学是である「仁」の精神に基づき、スポーツと健康に関連する専門的知識と技能の修得及びその実践的な応用力の涵養を図り、人間の健康維持・増進・回復に寄与できる医科学的素養と人文社会科学的教養を兼ね備えた創造性豊かな人材を育成することを目的としている。そのために、学科ごとに以下の目標を定めている。
(資料1-4 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

- (1) スポーツ科学科では、アスリートの競技力向上及び人々の健康・体力づくりに適切な運動プログラムの開発、系統的・段階的な指導技術に必要な基礎知識と技能を修得する。

第1章 理念・目的

(2) スポーツマネジメント学科では、スポーツを客観的・多角的に分析する基礎知識と習慣を身につけ、スポーツをコアとして国際的に通用する実用性・創造性の高いマネジメント力を修得する。

(3) 健康学科では、健康に関わる科学的な基礎知識と実用性に富んだ技能を身につけ、障害者(児)を含む人々の健康づくりと健康支援に必要な基礎知識並びに技能を修得する。

〈4〉 医療看護学部

1) 本学部では、学是である「仁」の精神に基づき、安心・安全で質の高い看護を提供し、更に高度先進医療の一翼を担うことができる看護職者の育成を目指す。そのために、以下の目標を定めている。(資料1-4 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

(1) 看護に関する確実な知識・技術を身につけ、心身を癒す質の高い看護が実践できる看護実践能力を修得する。

(2) 次世代の看護職者として国際的に通用し、広く保健・医療・福祉の分野において活躍できる能力を修得する。

〈5〉 保健看護学部

1) 本学部では、学是である「仁」の精神に基づき、チーム医療の一翼を担う優れた看護実践力をもつ心温かな看護職者及び地域の人々の保健衛生・健康保全に貢献する国際性豊かな看護職者を養成することを目的としている。そのために、以下の目標を定めている。

(資料1-4 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

(1) 科学的根拠に基づいた看護基礎能力を身につけ、心身を癒す看護実践能力を修得する。

(2) 進歩・変化著しい保健・医療・福祉分野を総合的に理解し、創意工夫する態度・習慣を身につける。

(3) 自ら健康維持増進に留意し行動的に学習し、国際的に活躍できる素養を身につける。

〈6〉 大学院医学研究科

1) 修士課程の人材養成目的は、次のとおり定めている。

(資料1-5 順天堂大学大学院医学研究科規程 第1条第3項)

修士課程は、医学以外の教育を受けた学生を受け入れ、医学・生命科学・医療学の知識を系統的に修得できるカリキュラムのもと、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢、能力を涵養する教育、研究の場である。

本学の学是「仁」の精神一常に相手の立場にたつて物事を考え、他を慮り、慈しむ心を兼ね備えた“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を育成する。

2) 博士課程の人材養成目的は、次のとおり定めている。

(資料1-6 順天堂大学大学院医学研究科規程 第1条第2項)

博士課程は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場である。

そして、常に相手の立場にたつて物事を考え、人間として、あるいは医学者として他を慮り、慈しむ心、これ即ち学是、「仁」の心を兼ね備えた医学・医療の指導者・実践者を国際的レベルで育成する教育研究の拠点である。

このような基本理念に立脚して、生涯にわたって医学と向き合う姿勢をもった基礎医学者と臨床医学者、あるいはその両方を兼ね備えた Physician-Scientist、究極的には心身共に病める人々を救済する“志高き医師・医学者”を育成する。

〈7〉 大学院スポーツ健康科学研究科

- 1) 本研究科では、学是「仁」と「不断前進」の理念のもと、スポーツと健康の医科学研究を行い、人々の健康で文化的な生活形成に貢献できる実践的かつ創造的な人材を育成することを目的としている。

(資料1-7 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科規程 第1条第2項)

- 2) 博士前期課程(修士課程)の人材養成目的は、次のとおり定めている。

スポーツの科学的基礎、社会科学的価値並びにヘルスプロモーションの考究に関わる学習と研究を通して、その成果を人々の健康や体力の維持・向上及びスポーツの社会的発展に体系的に応用できる実践的・理論的根拠を身につけた人材の育成を目的とする。

- 3) 博士後期課程(博士課程)の人材養成目的は、次のとおり定めている。

スポーツと健康の科学に関する知の修得と創造に貢献する研究と教育を通して、独創的かつ先端的な研究を独立して行うことができ、その成果をスポーツ健康科学の発展に応用できる高度な専門家・指導者の育成を目的とする。

〈8〉 大学院医療看護学研究科

- 1) 本研究科では、学是である「仁」の精神に基づき、高度な実践能力をもつ看護専門職者、及び看護学のあり方を探求する教育者・研究者の養成を目的としている。そのために、以下の目標を定めている。(資料1-8 順天堂大学大学院医療看護学研究科規程 第1条第2項)

- (1) 日々変貌する保健・医療・福祉の場で、環境の変化に対応でき、科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を発揮できる看護職者を育成する。
- (2) 看護学の成立基盤を基に看護学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を育成する。
- (3) 医学研究科及びスポーツ健康科学研究科と連携して看護職者のキャリア構築を支援し、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる看護職者を育成する。

(2) 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。

【評価の視点】

- ・ 構成員に対する周知方法と有効性
- ・ 社会への公表方法

〈1〉 大学全体

- 1) 全学的な周知方法としては、理事長が毎月1回主催する大学運営連絡協議会がある。大学運営連絡協議会は、4学部3研究科6附属病院の主たる教職員約100名で構成され、本学における教育、研究、診療等全般にかかわる事項について、理念・目的等との整合性の観点から協議している。協議の内容は、各部署に行きあたり、大学の方向性が共有されている。
- 2) 教職員への周知方法としては、各学部・研究科において実施しているワークショップがある。

第1章 理念・目的

毎回、理事長あるいは学長が参加し、理念・目的等から教育・研究等に係るテーマについて検討している。その他、理事長による年頭所感、学祖祭における式辞、入職時研修により周知されている。

3) 学生・大学院生には、入学式の式辞において説明されるとともに、学内広報誌にも掲載し全学的に周知している(資料1-9 順天堂ニュース 4月号(平成23~25年))。また、各学部・研究科におけるシラバスの巻頭言において、理念等を掲載し、当該学部長、研究科長やオリエンテーション担当教員から周知している。

4) 社会的な周知方法としては、ホームページがあり、「情報公開(基本情報)」の教育研究上の基礎的な情報で公表している。また、本学の理念等の醸成の過程を説明するために「順天堂の歴史」を掲載している。

(資料1-10 順天堂ホームページ 「情報公開(基本情報)」)

(資料1-11 順天堂ホームページ 「順天堂の歴史」)

5) 理事長の監修による冊子『2013年 順天堂創立175年の軌跡~今、ふたたび「仁」~古き歴史と日新の科学を踏まえて』は、新入生父母、本学来校者等にも配布し、本学への理解を深めている。

(資料1-12 『2013年 順天堂創立175年の軌跡~今、ふたたび「仁」~古き歴史と日新の科学を踏まえて』)

6) 理事長、学長、学部長、研究科長は、学生の会合あるいは教職員のFD、ワークショップ等に出席する際には、学是「仁」、及び理念「不断前進」に言及することを常としている。

<2> 医学部

1) 医学部では、医師になろうと努力する学生に対して、6年間で卒業し、ストレートで医師国家試験に合格させるよう教育している。単に医師国家試験合格だけを目指すのではなく、国家試験をものともしない、知性と教養と感性溢れる医師となるための教育を行っている。このような教育環境を維持し発展させるために、医学部では教育に関する次のようなミッションを学生と教職員に公示している。

① 授業とは、単に知識・技能の伝達ばかりではなく、教員と学生の直接的なコミュニケーションを通して、人間性育成のための教育の場として考えている。教室以外のベッドサイド教育に於いても、実技実習の場に於いても然りである。

② 教員には教育する責任があり、学生には履修責任がある。特に、医学部学生の不勉強は、病める人、患者さんに迷惑をかけるという認識を持たなければならない。

③ 学生を教育するという事は、教員自らの研究・診療能力を向上させるうえで最重要である。教員は学生を教育することにより、自らをも教育される。学生のモチベーションの向上を計り、それに基づく教育体制を工夫して整備することが、教育のみならず研究や臨床における教職員の活動水準を高めることに繋がると認識している。

④ 学生の学習意識をパッシブなものからアクティブなもの、自ら進んで学ぶという姿勢に変容させ得るかどうかにより教員の能力が問われる。全教科を通じて教職員側が自ら知り得たことを後進に、より易しく伝授するよう努力しなければならない。一般教養教育、基礎医学教育、そして臨床医学教育においては、教授・准教授・講師・助教クラスが学生に対して直接教育することが重要であるが、それにとどまらず、大学に集う者全てが教育に深く関与するものであるという認識を持たねばならない。

2) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) 教職員に対しては、年度初めの学部長挨拶時や毎年実施している FD 時に口頭および書面により周知徹底を図っている。
- 2) 在学生に対しては、総合講座・学年別ガイダンス等を通じて周知徹底を図っている。
- 3) 入学志望者に対しては、入試ガイド・学部案内パンフレットにも掲載し、深く理解してもらえるよう配慮している。
- 4) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈4〉 医療看護学部

- 1) 教職員に対しては、年度初めの教員オリエンテーションおよび毎年8月に開催される教員ワークショップにおいて学部長から周知徹底されている。
- 2) 非常勤の教員に対しては、毎年10月に開催される実習指導者研修会において理念・目的・教育目標を説明している。
- 3) 入学志望者に対しては、募集要項や学部紹介パンフレット、進学説明会、オープンキャンパス、ホームページにおいて理念・目的・教育目標を説明している。
- 4) 在学生に対しては、年度初めの各学年のオリエンテーションにおいて、理念・目的・教育目標を繰り返し説明している。
- 5) 保護者に対しては、入学式当日の学部懇談会において学部長から説明を行うとともに、毎年開催される定例保護者会総会においても繰り返し説明を行っている。
- 6) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 教職員に対しては、新年度教員オリエンテーション、教授会や FD 委員会など各種委員会、ワークショップや新任教員 FD など機会あるごとに周知徹底を図っている。
- 2) 臨地実習を担当する実習指導教員（兼担・非常勤）に対しては、毎年、実習指導者研修会を開催し、理念・目的・教育目標を説明している。
- 3) 非常勤講師に対しては、毎年度、非常勤講師会を開催しており、本学部専任教員との意見交換を通じ、教育目標について理解を深めてもらい、授業内容にもその理解が反映されるべく努力を重ねている。
- 4) 入学志望者に対しては、ホームページ、学部パンフレット、学生募集要項にて、理念・目的・教育目標を説明している。また、広報委員会委員をはじめとする教職員による高等学校訪問、本学部学生による母校訪問により、周知徹底を図る方策も講じている。
- 5) 在学生に対しては、シラバスにおいて再度提示した上で、より一層の周知徹底を図るため、毎年度、新学期学年別オリエンテーションの際、学部長、教務委員長および学生部長から説明をおこない、理念を再認識するとともに、その周知徹底に努めている。
- 6) 学是「仁」の背景、由来については、入学時オリエンテーションにおいて、学部長および本学医史学研究室の教員が順天堂史の説明を行っている。
- 7) 保護者に対しては、入学式当日の学部説明会において学部長から説明を行うとともに、毎年開催される定例保護者会総会においても繰り返し説明を行っている。
- 8) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

第1章 理念・目的

〈6〉 大学院医学研究科

- 1) 理念・目的は、医学研究科・医学部に所属・関連する学生・大学院生・教員・職員等全ての構成員に周知されており、社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。
- 2) 在学生に対しては、入学式およびオリエンテーションを通じて周知を行っている。

〈7〉 大学院スポーツ健康科学研究科

- 1) 理念・目的は、年度初めの教職員に対する研究科長挨拶、学年別ガイダンス、FDの際に、口頭および書面により周知徹底を図っている。
- 2) 入試と連動して大学院案内パンフレットにも掲載し、入学志望者にも深く理解してもらえよう配慮している。
- 3) 関連学会においても可能な限り大学院紹介ブースを設けて、学内のみならず社会への周知を図っている。
- 4) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈8〉 大学院医療看護研究科

- 1) 教職員に対しては、ワークショップ等のFD教育の中で行っている。
- 2) 入学希望者に対しては、大学院説明会、学部の進学・就職説明会、病院看護職のSD教育の機会において研究科長が大学院の教育等に関する説明を行っている。
- 3) 理念・目的・教育目標の周知の方法は、ホームページ、募集要項、シラバスによって行っている。在学生に対しては、オリエンテーションを行い、研究科長から理念等の説明を行っている。
- 4) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

(3) 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。

〈1〉 大学全体

- 1) 検証する仕組みとしては、前述の大学運営連絡協議会や各学部・研究科におけるワークショップがある。これらの会議等において、教育・研究・診療等に関する議事について、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点から論議され、検証が行われている。
- 2) 毎年、年初に、理事長から年頭所感として大学、附属病院の教職員に対して訓示を行っている。年頭所感では、大学、附属病院の教育・研究・診療における前年の活動に対する点検・評価及び本年の方針等が詳細に述べられており、この訓示を通して、大学の理念・目的・指針等の再確認が行われている。

(資料1-13 順天堂だより 「新春号」(平成24~26年))

〈2〉 医学部

- 1) 教授会や医学教育・卒後教育(成田)ワークショップ等で定期的に検証している。ワークショップは、理事長・学長・医学部長・学生・大学院生・臨床研修医・教職員等が参加し毎年開催されている。

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) 教授会や教務委員会、カリキュラム委員会において学部教育に関する事項を審議・検討する際に、また毎年開催されるワークショップあるいはFDの際に毎回検証されている。

〈4〉 医療看護学部

- 1) 教授会や毎年開催される教員ワークショップにおいて定期的に検証されている。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 本学部の目的・目標は、多様な周知方法によって、学生・保護者・教職員等に浸透している。妥当性の検証については、教授会やFD委員会、教務委員会で学部教育に関する事項を審議・検討する際に、また広報委員会や毎年開催されるワークショップにおいても毎回検証されている。

〈6〉 大学院医学研究科

- 1) 本研究科の目的の適切性については、医学研究科委員会、大学院検討委員会、理事長・学長・医学研究科長・学生・臨床研修医・教職員等が参加し毎年開催されている医学教育・卒後教育（成田）ワークショップ等で定期的に検証されている。

〈7〉 大学院スポーツ健康科学研究科

- 1) 各年度に3回以上系代表者会議（研究科長、系代表3名）において、研究科の目的の適切性を検討し、問題が生じていると判断された場合は研究科委員会において修正案を立案・審議のうえ、全学的な大学院委員会の議を経て変更することとしている。

〈8〉 大学院医療看護学研究科

- 1) 本研究科の目的・目標の妥当性については、研究科委員会における教育等に関する事項を審議する際に毎年担当者を決め検証している。また毎年開催されるワークショップあるいはFDにおいて、大学院の教育・研究等に対する社会的要請、あるいは学術的動向、学問的な継承性等からも検証されている。

2. 点検・評価

[基準1]

大学は、その理念に基づき、人材育成の目的、その他の教育研究上の目的を適切に設定し、公表しなければならない。

●基準1の充足状況

本学の学部・大学院においては、学是「仁」・理念「不断前進」に基づき、人材養成目的・教育目標が設定され、医学、スポーツ健康科学、看護学における教育・研究に関する本学独自の指針となっている。上述のように複数の方法により、学内はもとより広く社会一般にも公表されている。

①効果があがっている事項

〈1〉 大学全体

- 1) 学是「仁」・理念「不断前進」に基づき、学部・研究科において、人材養成目的・教育目標が設定され、学生の人間形成過程を大切にし、学生の個性を引き出し自己学習の意欲を喚起する教育が行われている。周知の方法として、全学的には理事長が毎月1回主催する大学運営連絡協議会が有効に機能している。各学部・研究科においてはワークショップや各種委員会、学生に対してはシラバスや各種オリエンテーションにより周知徹底が図られている。保護者に対しては、保護者会総会等において説明が行われている。社会に対してはホームページ・広報誌等を通して積極的に公表し、本学への理解が深まるようにしている。（資料1-10 順天堂ホームページ 「情報公開（基本情報）」）
- 2) ホームページの英文サイトにおいて、理念・目的を含む教育研究上の基本的な情報を公開

第1章 理念・目的

しているものの、多言語化の対応が遅れていた。平成25年6月に中国語、インドネシア語、韓国語に対応したページを公開した。

(資料1-14 順天堂ホームページ 「英文サイト」)

②改善すべき事項

〈4〉 医療看護学部

- 1) 国際的に情報発信するためには、ホームページの英文化が不十分である。
- 2) ホームページ検索がパソコンから手軽なスマートフォンに移行していることからホームページのスマートフォン対応が必要である。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 国際化対応について、ホームページ上に英語版の公表ができていない。

〈8〉 大学院医療看護学研究科

- 1) 国際的に情報発信するためには、ホームページの英文化が不十分である。
- 2) ホームページ検索がパソコンから手軽なスマートフォンに移行していることからホームページのスマートフォン対応が必要である。

3. 将来に向けた発展方策

①効果があがっている事項

〈1〉 大学全体

- 1) 社会の絶え間ない変化の中において、本学に求められる社会的ニーズを的確に把握し、求められる医学教育、スポーツ健康科学教育、看護学教育を行っていく。理念・人材養成目的・教育目標との適切性については、毎年実施しているワークショップや各種委員会等で検討を進め、各教授会・検討委員会にて定期的に検証していく。周知の方法として、学生に対しては、シラバスや各種オリエンテーションによる周知徹底を図るとともに、社会に対しては、ホームページ・広報誌等を通じた積極的な広報を継続していく。
- 2) 日本語ページとの整合をとりつつ、海外に発信すべき情報の体系的整理を行ったうえで、公開情報の多言語化を進めていく。

②改善すべき事項

〈4〉 医療看護学部

- 1) 国際的に情報発信するためにホームページの英文化を促進する。
- 2) 発信すべき情報の体系的整理を行ったうえで、スマートフォン対応のホームページを作成する。

〈5〉 保健看護学部

- 1) ホームページ英語版公表に向け、国際交流委員会を中心に準備を進める。

〈8〉 大学院医療看護学研究科

- 1) 国際的に情報発信するためにホームページの英文化を促進する。
- 2) 発信すべき情報の体系的整理を行ったうえで、スマートフォン対応のホームページを作成する。

4. 根拠資料

- 資料1-1 順天堂ホームページ 「本学の学是と理念」
<http://www.juntendo.ac.jp/about/philosophy.html>
- 資料1-2 順天堂大学学則 第1条
- 資料1-3 順天堂大学大学院学則 第1条
- 資料1-4 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記
- 資料1-5 順天堂大学大学院医学研究科規程 第1条第3項
- 資料1-6 順天堂大学大学院医学研究科規程 第1条第2項
- 資料1-7 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科規程 第1条第2項
- 資料1-8 順天堂大学大学院医療看護学研究科規程 第1条第2項
- 資料1-9 順天堂ニュース 4月号（平成23～25年）
- 資料1-10 順天堂ホームページ 「情報公開（基本情報）」
<http://www.juntendo.ac.jp/about/information/>
- 資料1-11 順天堂ホームページ 「順天堂の歴史」
<http://www.juntendo.ac.jp/way/>
- 資料1-12 『2013年 順天堂創立175年の軌跡
～今、ふたたび「仁」～古き歴史と日新の科学を踏まえて』
- 資料1-13 順天堂だより 「新春号」（平成24～26年）
- 資料1-14 順天堂ホームページ 「英文サイト」
<http://www.juntendo.ac.jp/english/>